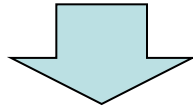


守山市（近畿圏ブロック）

【計画期間 21年3月～27年2月】※ 期間延長適用後

- ・江戸時代：「京発ち守山泊まり」の宿場町として発展
- ・戦後：近代工場（化学・機械・繊維）を誘致し工業都市化

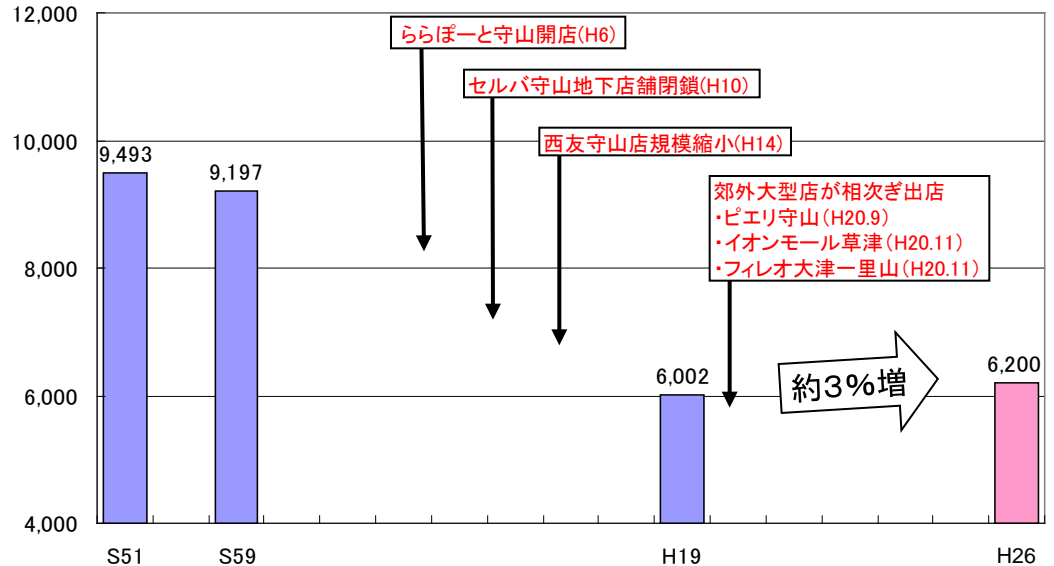
- 京都や大阪のベッドタウンとして、中心市街地にファミリー層が増加。
- 郊外大型店の出店、商店街店主の高齢化の進行、ならびに後継者不足により商業機能が低下。
- 中山道沿いには、守山の地名起源の一つとされる「東門院」等の歴史的・文化的資源が現存。
- まちなかでゲンジボタルが飛翔。



- 歩行者・自転車通行量(平日)
S51:9,493人
→ H19:6,002人（▲約37%）
- 年間商品販売額
H6:231億円
→ H16:119億円（▲約48%）

目標	指標	現況値（H19）	目標値（H26）
子どもから高齢者まで幅広い世代が共生できるまち	福祉・文化交流施設の利用者数	126,082人/年	163,000人/年
住民参加により地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しいまち	歩行者・自転車通行量（平日）	6,002人/日	6,200人/日

（人/日）【歩行者・自転車通行量[平日・3地点]の推移と数値目標】



■ 小学校、幼稚園、交流施設の合築等により、幅広い世代が共生できるまちを目指す。

⇒ 主要事業：①教育施設の統合化、②福祉・文化・交流施設の整備

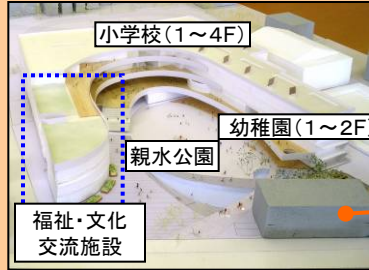
■ 中山道の町家等の地域資源を住民参加により再生し、地域住民が親しめるまちを目指す。

⇒ 主要事業：③東門院門前にぎわいづくり、④「地域活性化施設」チャレンジショップ、⑤水辺遊歩道ネットワーク

守山市中心市街地活性化基本計画の事業概要

子どもから高齢者まで幅広い世代が共生できるまち

- 教育施設統合化、福祉・文化交流施設整備 (①、②)
小学校の改築に合わせ、**幼稚園・小学校の連携強化を図るため施設を合築し、園児と児童が交流できるようなカリキュラムを構築することで、教育機能を充実。**また、教育施設に**介護予防施設・子育て支援施設・ほたるの情報発信施設・障がい者交流促進施設・カフェレストラン**などの様々な利用者が交流できる施設を併設。



- 高齢者交流拠点づくり

中山道沿いの町家を活かし、昔親しんだ環境の中で時間を過ごし**高齢者が集い憩える場を確保。**



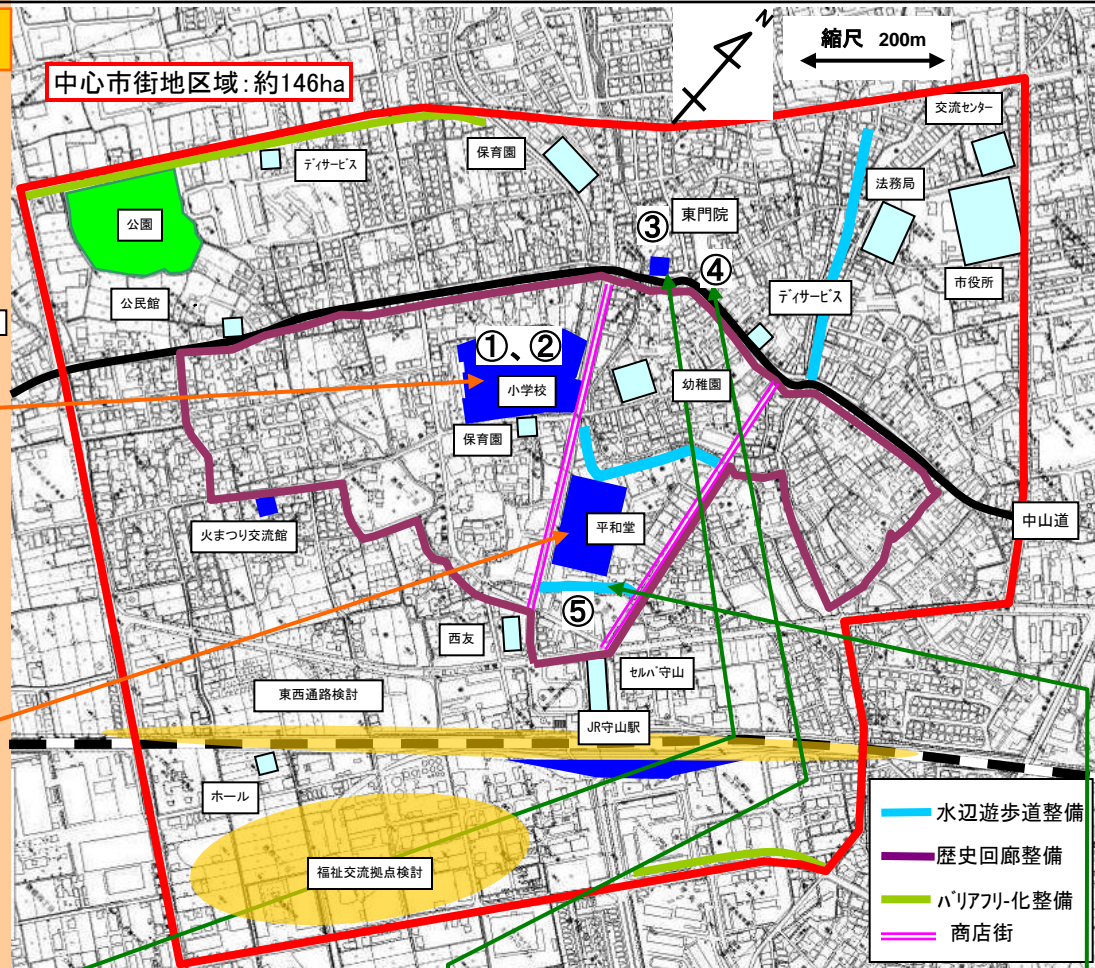
- 平和堂守山店建替

郊外大型店が出店が相次ぐ中、魅力ある店舗に改築し地域住民の利便性を高めるとともに、**加チャ施設などを取り込み「コミュニティ」化を図る。**



- 商店街の活性化事業

空き店舗を活用した文化教室等により**コミュニティを形成。**また、**銀座夜市や夏まつり等のイベント**を定期的で開催。



住民参加により地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しいまち

- 東門院門前にぎわいづくり(③)

中山道沿いの東門院を中心とし、その隣接する町家を活用し、**地域住民が主体となってアート市の開催、カフェ、舞台・納涼床を設置。**



- 「地域活性化施設」チャレンジショップ(④)

中山道に面し、蔵を残す大きな商家を歴史文化拠点として整備し、**地元食材の物販店や飲食店を入店させ賑わいの拠点を創出。**



- 水辺遊歩道ネットワークの形成(⑤)

まちなかの小川川に住民と協働のもと**ゲンジボタルが自生できるような護岸を整備し、遊歩道や休憩所を設置。**



- 中山道街並み整備

中山道に面した建築物等の**修景整備に助成**